

参考資料7

アラクロールの野生ハナバチ類に係る公表文献検索結果

アラクロールの野生ハナバチ類への毒性に関して、再評価における公表文献の提出について（令和3年10月1日付け3消安第3460号農林水産省消費・安全局長通知）に基づき、申請者から公表文献の収集結果報告書が提出された。

提出された報告書に基づき確認したところ、野生ハナバチ類登録基準設定に利用可能な文献は該当しなかった。

有効成分名：アラクロール

データベース名：1) Web of Science (Core Collection)  
2) J-STAGE

検索対象期間：1) 2008年1月1日から2023年1月5日  
2) 2008年1月1日から2022年12月31日

検索ワード：アラクロールの公表文献報告書参照

（[https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyouka/attach/pdf/saihyouka\\_a-24.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyouka/attach/pdf/saihyouka_a-24.pdf)）

文献検索	「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文献数	106
適合性評価 第1段階 結果	「適合性なし」以外の文献数	22
適合性評価 第2段階 結果	「適合性あり」の文献数	4
適合性の 分類結果	「区分a～c」に分類された文献数	c 4

↓

適合性評価第1段階  
【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】  
明らかに目的としない文献の除外

↓

適合性評価第2段階  
【全文に基づく適合性の有無の評価】  
評価の目的と適合しない文献の除外

↓

【適合性の分類】  
分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性をa、b、cの3つの区分に分類  
区分a：基準設定に利用可能と判断される文献  
区分b：基準設定の際に補足データとして利用可能と判断される文献  
区分c：a又はbに分類されない文献

↓

試験生物として野生ハナバチ類（wild bee、Apis cerana japonica、bumble bee等）を用いているかどうか

野生ハナバチ類登録基準設定に利用できる文献数	0
------------------------	---